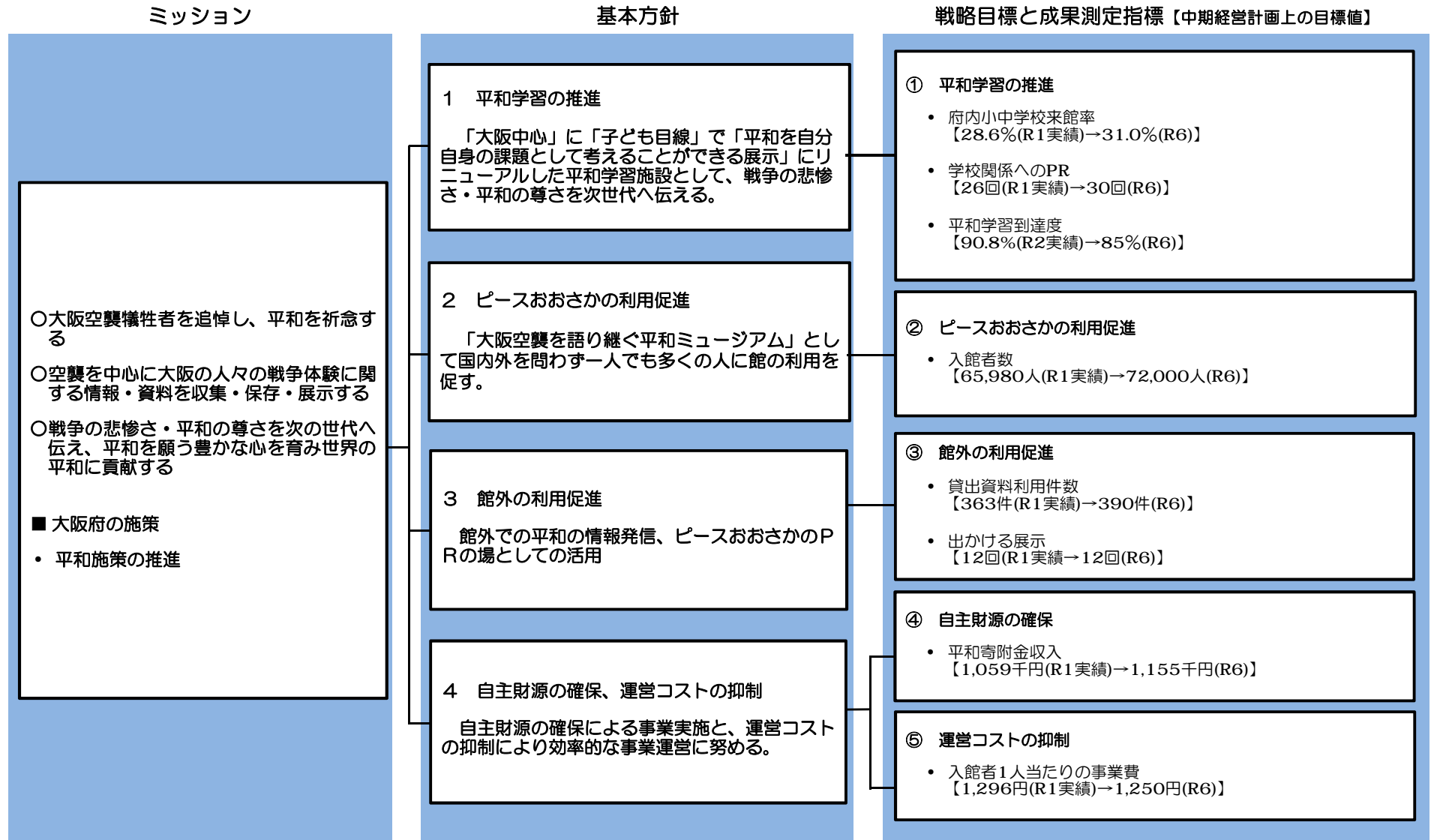


法人名	公益財団法人大阪国際平和センター
作成（所管課）	府民文化部人権局人権企画課

○ 経営目標設定の考え方



○ 令和2年度の経営目標達成状況及び令和3年度経営目標設定表

I. 最重点目標(成果測定指標)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	ウエイト (R2)	R1実績値	R2目標値	R3目標値	ウエイト (R3)	中期経営計画 (R2～R6)		R3目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、その理由も記載
						実績値[見込値]			R3目標値	最終年度 目標値	
① 平和学習の推進	府内小中学校来館率 (ピースおおさかに来館した府内公立小中学校数／府内全公立小中学校数)		%	20	(28.6)	7.1	12.0	20	30.0	31.0	平和学習施設としての役割を果たすという考え方で設定した中期経営計画の目標値を基礎に、今後の新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して設定。
						11.5					
	学校関係へのPR		回	10	(26)	21	23	10	28	30	上記目標を達成するために効果的であるという考え方で設定した中期経営計画の目標値を基礎に、上記記載の影響等を考慮して設定。
						21					
法人経営者の考え方(取組姿勢・決意)											戦略目標達成のための活動事項
最重点とする理由、 経営上の位置付け	○当法人は、①大阪空襲犠牲者を追悼し、平和を祈念する ②空襲を中心に大阪の人々の戦争体験に関する情報・資料の収集、保存、展示する ③戦争の悲惨さ・平和の尊さを次世代に伝え、平和を願う豊かな心を育み、世界の平和に貢献することを目的とし、平成27年4月に「大阪中心」に「子ども目線」で「平和を自身自身の課題として考えることができる展示」にリニューアルし、主に平和学習施設として運営している。 ○先の大戦を自らの体験として語る人は少なくなる一方、平和学習施設として平和の尊さを次世代へ伝えるべく、府内小中学校へ働きかけ、1校でも多くピースおおさかを利用してもらうことを最重点目標とする。										
最重点目標達成のための 組織の課題、改善点	○当財団の運営費のほとんどは府市の補助金に依拠しているが、平成20年の財政再建プログラム案において「府派遣職員は必要最小限」とされ、それ以降の補助金の減額も相まって、組織体制、事業展開とも極めて厳しい状況にあり、限られた人員・資源を生かした効果的な運営が求められている。 ○府内の公立小中学校については、エリアごとによってピースおおさかへの来館率にばらつきがあり、来館率の低いエリアへの効果的な働きかけが必要である。 ○カリキュラムや業務の増加により、教員の平和学習の機会が減少しており、教員に向けた積極的なPRが必要である。										・市町村教育委員会や校長会等におけるPRの実施 ・貸出資料や語り部の派遣等の平和学習の利用促進
活動方針	新型コロナウイルス感染症の影響に留意しつつ、収束後を見据えた学校等への働きかけを行い、府民等への平和学習機会の充実を図る。 ※新型コロナウイルスの影響(令和3年4月23日時点) 令和2年2月以降、新型コロナウイルスの感染拡大により当館の運営に多大な影響が生じることとなり、令和3年度以降も、その状況により入館制限を継続するなど感染防止対策を適切に講じた上での運営が求められる。 令和3年度の目標値については、感染拡大により、令和3年4月、まん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言が発出されたことに加え、変異株による更なる感染拡大も予想されるなど不確定要素も多く、依然厳しい状況が継続すると想定されることから、次のとおりとする。 なお、今後の状況を踏まえ、必要な場合は、目標値を見直すこととする。 ●令和2年度の実績を踏まえ、令和3年度中期経営目標値に対して、昨年度と同程度の達成率を乗じて得られた値とする。(平和学習到達度は除く)										・講堂や会議室の利用の促進、教員等による平和や人権研修の誘致 ・定時映画の上映、見学ワークシートの提供、戦跡めぐりなど、教員の平和学習のサポートに取り組む ・学校教員向けのアンケートによる効果的な平和学習のニーズの把握

II. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	ウエイト (R2)	R1実績値	R2目標値	R3目標値	ウエイト (R3)	中期経営計画 (R2~R6)		R3目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定 の場合は、その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項
						実績値[見込値]			R3目標値	最終年度 目標値		
① 平和学習の推進	平和学習到達度 「ピースおおさが平和学習の場として役立ったか」という問いに対し、「役立った」/全回答 (選択肢は、「役立った」「役立ったがもう少し工夫・改善があればなお良い」「あまり役立たなかった」「役立たなかった」)		%	10	-	85	85	10	85	85	平和学習施設としての役割を果たすという考え方で設定した中期経営計画の目標値とする。	・教員向けアンケートによる効果的な平和学習のニーズの把握
						90.8						
② ピースおおさかの利用促進	入館者数		人	15	65,980	23,200	28,600	15	71,400	72,000	少子化等を踏まえ設定した中期経営計画の目標値を基礎に、今後の新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して設定。	・企画事業の充実 ・日本平和博物館会議やユニセフ・ユネスコ等外部団体との連携 ・会議室活用の誘致
						28,088						
③ 館外の利用促進	貸出資料利用件数		件	10	(363)	187	248	10	381	390	館外の利用促進を図るという考え方で設定した中期経営計画の目標値を基礎に、今後の新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して設定。	・来館が困難な学校に向けたPRの実施 ・貸出資料を増やして対応
						237						
	出かける展示		回	10	12	7	8	10	12	12	館外の利用促進を図るという考え方で設定した中期経営計画の目標値を基礎に、今後の新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して設定。	・展示先の確保 ・展示内容の充実
						7						

III. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)

④ 自主財源の確保	平和寄附金収入		千円	15	1,059	655	636	15	1,155	1,155	貴重な自主財源としての寄附金について、広く募集を呼びかけるという考え方で設定した中期経営計画の目標値を基礎に、今後の新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して設定。	・企画事業等での広い寄附の呼びかけ ・税の優遇措置のPRの継続
						× 619						
⑤ 運営コストの抑制	入館者1人当たりの事業費 (「一般会計」支出合計(事業活動支出額)/入館者数)		円	10	1,296	3,889	3,161	10	1,260	1,250	効率的な運営を図るという考え方で設定した中期経営計画の目標値を基礎に、今後の新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して設定。	・目標入館者数の達成 ・運営コスト抑制の取組みの継続
						3,198						

【凡例】

- ・☆はR3年度からの新規項目
- ・×は目標値未達成
- ・↓は前年度実績比マイナスの目標値
- ・〔 〕内の数値は、参考として記入した実績見込値
- ・()内の数値は、当該年度の経営目標として設定していないため、参考として記入した実績値

CS 調査の実施概要

○令和 2 年度の実施結果

調査内容	実施方法	アンケート等対象者	対象者数	実施時期
入館者総合満足度	アンケート（書面・本人記入）	施設入館者	500人	通年

実施結果の主な内容	実施結果を踏まえた取組
<p>アンケートに記載の主な意見（要望・改善点など）</p> <p>①館内の構造・見学順路が分かりにくい。</p> <p>②展示の説明が文字が小さく、見にくいところがある。</p> <p>③見学ワークシート活用等にあって記載スペースがないことに苦労した。</p> <p>④施設面での改善を行ってほしい。</p> <p>⑤展示内容について、もっと被害と加害の両面から伝えるべきである。</p>	<p>（結果を踏まえ実施した取組）</p> <p>①小中学生の引率教員の事前申込(下見)時に見学順路の説明に加え、音声ガイダンスの墨字版(順路の番号表示あり)を引き続き配付している。また、適宜必要な館内の案内表示を設置している。</p> <p>②4か国語の音声ガイダンスに加え、スマートフォンを活用した展示ガイダンスアプリの導入を検討。（令和3年5月から実施予定）</p> <p>③見学ワークシートの記載や研修会用に貸出クリップボードを充実させた。</p> <p>④-1 苦情の多かったトイレ改修（2階）や、3階展示室の雨漏り箇所の補修、講堂の換気装置や老朽化したガラス面のブラインドの取り換えなど施設面での改修を行った。④-2 館内スロープに戦争体験画を増設した。④-3 寄贈された千羽鶴掲示台や講堂での研修会用可動式机を増設した。④-4 館内Wi-Fiを設置した。</p>

○令和 3 年度の実施方針

調査内容	実施方法	アンケート等対象者	対象者数	実施時期
入館者総合満足度	アンケート（書面・本人記入）	施設入館者	900人	通年

■ 目標値未達成の要因について

〔1〕

R2年度の 成果測定指標	単位	R2年度の 目標値	R2年度の 実績値〔見込値〕
平和寄附金収入	千円	655	619

未達成の 要因と分析	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大による12月6日の開戦の日の平和 祈念事業の中止 ・個人の篤志家からの大口寄附が減少
---------------	---

今後の 改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・企画事業において広く寄附を呼びかける。 ・税の優遇措置のPR（継続）
-------------	--

〔2〕

R2年度の 成果測定指標	単位	R2年度の 目標値	R2年度の 実績値〔見込値〕

未達成の 要因と分析	
---------------	--

今後の 改善方策	
-------------	--

■ 令和 2 年度実績比 マイナス（現状維持）目標の考え方について

〔1〕

成果測定指標	単位	R2年度の実績値(見込値)	R3年度の目標値
平和学習到達度	%	90.8	85

<p style="text-align: center;">マイナス (現状維持) 目標の考え方</p>	<p>平和学習到達度は、来館のあった小中学校の代表教員に対するアンケートにより算出しており、リアルな実物展示や映像、定時映画の上映、ワークシートの提供等で概ね高評価を受けている。しかしながら、アンケートによるニーズに出来る限りの対応はしつつも、来館時期が集中することによる混雑が不可避であることや展示内容についての様々な考え方、施設面の制約等での限界もあり、年度毎により実績値は変動するものである。</p> <p>本指標は、令和 2 年度から策定した中期経営計画において新たに設定した目標項目(毎年 8 5 %以上を維持)であり、引き続き、計画に沿った目標値を継続してクリアすることを目標とする。</p>
--	--

〔2〕

成果測定指標	単位	R2年度の実績値(見込値)	R3年度の目標値
/			

<p style="text-align: center;">マイナス (現状維持) 目標の考え方</p>	/		
--	---	--	--